

## 「国際コンテナ戦略港湾政策推進委員会」の設置について

国際コンテナ戦略港湾政策については、平成22年8月に阪神港、京浜港を選定して以降、大水深コンテナターミナルの整備や港湾運営会社による港湾運営など、ハード・ソフト一体となった施策を集中してきた。

一方、この間、さらなるコンテナ船の大型化や基幹航路の再編等、海運・港湾を取り巻く情勢が大きく変化するとともに、「日本再興戦略」や「経済財政運営と改革の基本方針」において、国際コンテナ戦略港湾政策の推進が位置付けられたところである。

このような状況を踏まえ、国際コンテナ戦略港湾政策全体を深化させるとともに、国、港湾管理者、港湾運営会社、港湾関係者それぞれが取り組むべき課題を明確化し、具体的な取組を加速していく必要がある。

このため、従来の「国際コンテナ戦略港湾検討委員会」を改組し、新たに「国際コンテナ戦略港湾政策推進委員会」を設置することとする。